

拾った覚えのない部材が集計されている

部位別集計表に、拾っていないはずの部位に数量が集計されていたり、
計算書に、拾っていない記号が計測されていたりする場合は、
リスト画面の「集計部位」を、意図せずに変更してしまった可能性があります。

(例1) 基礎大梁に出てくるはずのないFc-21が集計されている。

部位名称	コンクリート(m ³) (土間)		計
	(Fc-21)	(Fc-24)	
基礎		112.00	112.00
礎版		11.78	11.78
基礎大梁	9.11	75.15	84.26
基礎小梁		19.88	19.88
地下壁			
柱	86.62	2.05	88.67
大梁	42.59		42.59
小梁	19.48		19.48
スラブ	81.91	11.00	92.91

(例2) 小梁の計算書に、拾った覚えのない記号(CS1)の部材が計測されている。

(RC 計算書)

*** サンプル新

** 小 梁 **		コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)
2	CS1	区分=1 通り名=X3-X6-> Y1-1連 (Fc-21) 0.14x18.85x1.5x1x1=	1台 (普通) 18.85x1.5x1x1= 0.13x18.85x1x1= 0.14x8.0x1x1=
		2.87	20.48 1.77 0.42
2	CS1	区分=1 通り名=X5-> Y1-Y3 1連 (Fc-21) 0.14x1.5x10.075x1x1=	1台 (普通) 1.5x10.075x1x1= 0.14x11.58x1x1=
		2.12	15.11 1.62
3	B1	区分=1 通り名= X3-X4 1連 (Fc-21) 0.5x0.8x5.85x1x1=	1台 (普通) 1.0x5.85x1x1=
		0.85	5.85

1. 各部位の断面リストの「集計部位」を確認します。

(梁リスト)

部位	記号	階S	階E	メモ	SEQ	その他鉄筋
G	1	2			8	<input type="checkbox"/> 記号のみ印刷

断面情報

外端 中央 内端

ハンチ長

ハンチ巾

ハンチ成

ハンチ形状

水平片側

コン強度

型枠

集計部位 **FG 基礎大梁**

種別

トップコン厚

トップ強度

B×D 350 × 500 350 × 500 350 × 500

「大梁」で集計されるところを、「基礎大梁」に集計するよう変更している

(床リスト)

部位	記号	階S	階E	メモ	SEQ	その他鉄筋
	CS1	1	R		5	<input checked="" type="checkbox"/> 記号のみ印刷

断面情報

床厚 150

片持先端厚 130

デッキ減厚

スラブ厚

かかり代

コン強度

型枠

集計部位 **B 小梁**

床種別

片持指示 1

RC部強度

構造土間

芯寸法 短辺 内法寸法 短辺 連続数 短辺

長辺 長辺 長辺

「スラブ」で集計されるところを、「小梁」に集計するよう変更している

2. プルダウンから空欄を選択するか、本当に変更したい集計部位を選択します。

(TOTAL数量としては正しい数量となっていますが、部位ごとの振り分けが間違っていたということになります。)